

技術書を 自作PDFリーダー で読む

- Haskell でつくる
不思議な読書体験 (1)



技術書を自作 PDF リーダーで読む — Haskell でつくる不思議な読 書体験

T.Ishikawa / @polymonyrks 著

2020-08-02 版 関数型玩具製作所 発行

前書き

本書概要

本書は PDF リーダーを自身の手で作ることを通してプログラミング言語 Haskell を学ぶ本の第一弾です。PDF リーダーは構文解析技術（自然言語処理）を駆使することで、高難度文書であっても速読・精読を容易ならしめるものです。

2020 年現在、これまでにない技術と目されます（なかったから自分で開発しました）。新しいガジェット好きな人（アーリーアダプター）は要チェックです。

今回は GUI 部等を除き、上記構文解析関数（ただ一つ）を Haskell でチューニングすることに集中します。

不思議な読書体験には興味があるけれども、Haskell には興味がない人も大丈夫です。筆者がチューニングした PDF リーダーを使って不思議な読書体験することが可能です。さらにプログラミング抜きで、あなた自身のカスタム読書モードを作成可能です。（チューニングのレイヤーは幾つか存在します）。

不思議な読書体験が 6 割、Haskell でつくるが 3 割。不思議な読書体験のコア技術と関数型プログラミングの関係性についてが 1 割といった具合です。

更に本技術を用いた読書時の戦略についても触れます。ソフトはあっても戦略なしでは逆効果です（なのでこれまで見つからなかった技術と目されます）。

不思議な読書体験をするためのソフトウェアは Github に公開していますが、その戦略ノウハウについてはまとまった形では公開していません。

第二段以降では Haskell での GUI プログラミングや更に高度なチューニングのために機械学習技術、型理論に立脚した意味論等の高度な内容を扱う予定です。

OS は Ubuntu(20.04, 18.04) と Windows10(pro/home) を想定しています。残念ながら筆者の力不足で MacOS には対応できませんでした（すいません）。

ご自身でチューニングした PDF リーダーを武器にして、専門書や技術書（本書も）を攻略してみてください。

本書が想定する読者

以下にご興味のある方々

- 不思議な新しい読書体験
- 自分の伸びしろを伸ばすような読書
- 既存の速読技術が通用しない書物の攻略
- 自分向けにフルカスタムした PDF リーダー

以下の方々

- 買った同人誌（技術書）を自分で作った PDF リーダーで読んでみたい人
- こむつかしい文書に頭を悩まされている人
- アーリーアダプター（初期採用層）
- 法律関係者、特許関係者
- 文章を書く人、ブログ等の記事を書く人
- 言語学、教育学の研究者、学生さん
- 英語を学習中の人、普段英語を読む人
- 共感覚の持ち主、共感覚を持ちたい人
- ADHD なる人
- 夏休みの自由研究のネタに困っている学生さん
- 教科書や参考書にマーカーを引く人
- Haskell 関係者
- プログラミング勉強しようと思っている人
- キラキラしたデコレーションが好きな人

なぜこれらの方々を想定するかは、本書を読み進めることで明らかになってきます。

免責事項

本書に記載された内容は、情報の提供のみを目的としています。したがって、本書を用いた開発、製作、運用は、必ずご自身の責任と判断によって行ってください。これらの情報による開発、製作、運用の結果について、著者はいかなる責任も負いません。